

沖縄都市モノレール輸送力増強事業

事業目的

沖縄都市モノレールは、定時・定速で安全性の高い公共交通機関として、県民や観光客に利用され、交通渋滞緩和やまちづくりの推進に大きな効果を発揮している。

乗客数は順調に増加しており、車両等における混雑率の解消が喫緊の課題のため、3両編成車両を導入し、輸送力を増強することで、利用者における定時・定速性の確保及び利便性の向上に取り組む。

事業概要

- 事業主体：沖縄都市モノレール（株）
（沖縄県・那覇市・浦添市が沖縄都市モノレール（株）へ補助）
- 事業内容：3両編成車両製造、新車両基地整備、既存駅舎改修
- 総事業費：35,653百万円（うち国費：23,336百万円）
（沖縄県：14,585百万円、うち国費：11,668百万円）（那覇市：12,543百万円、うち国費：10,035百万円）
（浦添市：2,042百万円、うち国費：1,633百万円）（沖縄都市モノレール（株）：6,482百万円）
- 事業期間：令和2年度～令和9年度

3両編成車両



新車両基地

